

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 2 月 10 日 (2011.2.10)

【公開番号】特開 2009-165062 (P2009-165062A)
 【公開日】平成 21 年 7 月 23 日 (2009.7.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-029
 【出願番号】特願 2008-3006 (P2008-3006)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 4/04 (2009.01)

G 0 8 G 1/09 (2006.01)

G 0 7 B 15/00 (2011.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 1 0 7

G 0 8 G 1/09 F

G 0 7 B 15/00 5 1 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 12 月 17 日 (2010.12.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【発明の名称】狭域通信システム及び狭域通信方法
 【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

基地局と、上記基地局と無線通信を行う移動局とを有し、上記基地局は、フレーム制御信号を上記移動局に送信し、上記移動局は、上記フレーム制御信号の受信により接続要求信号を上記基地局に送信する狭域通信システムにおいて、
 上記基地局は、上記フレーム制御信号に上記移動局が送信する上記接続要求信号の送信を制御する情報を含めて送信する機能を有し、
 上記移動局は、上記基地局からの接続要求信号の送信を制御する情報を受信すると共に、
上記接続要求信号の送信を制御する情報に基づいて上記移動局は、上記基地局に接続要求信号を送信し、
 上記基地局から接続許可信号が送信されない場合、上記移動局は、基地局探索モードに移行することを特徴とする狭域通信システム。

【請求項 2】

請求項 1 記載の狭域通信システムにおいて、上記接続要求信号の送信を制御する情報は、上記基地局からのフレーム制御信号の送信回数および上記フレーム制御信号の電界強度を示す閾値であり、上記移動局は、上記基地局からの上記フレーム制御信号の電界強度を監視する受信レベル監視部を有し、上記受信レベル監視部は、上記閾値以上の電界強度を有する上記フレーム制御信号の受信回数を計測し、該受信回数が上記基地局からの上記接続要求信号の送信を制御する情報で設定された送信回数以上になると、上記移動局の制御部は、上記接続要求信号を送信することを特徴とする狭域通信システム。

【請求項 3】

請求項 1 記載の狭域通信システムにおいて、上記接続要求信号の送信を制御する情報は、上記移動局の A C T C (アクチベーションチャネル) 最大送信回数であり、上記移動局は、上記基地局に接続要求信号を繰り返し送信し、上記 A C T C 最大送信回数を超えても、上記基地局から接続許可信号が送信されない場合、上記移動局は、基地局探索モードに移行することを特徴とする狭域通信システム。

【請求項 4】

請求項 1 記載の狭域通信システムにおいて、上記接続要求信号の送信を制御する情報は、上記移動局の A C T C (アクチベーションチャネル) 最大送信時間であり、上記移動局は、上記基地局に接続要求信号を繰り返し送信し、上記 A C T C 最大送信時間を超えても、上記基地局から接続許可信号が送信されない場合、上記移動局は、基地局探索モードに移行することを特徴とする狭域通信システム。

【請求項 5】

基地局と、上記基地局と無線通信を行う移動局とを有し、
上記基地局は、フレーム制御信号を上記移動局に送信し、
上記移動局は、上記フレーム制御信号の受信により接続要求信号を上記基地局に送信する狭域通信方法において、
上記基地局は、上記フレーム制御信号に上記移動局が送信する上記接続要求信号の送信を制御する情報を含めて送信し、
上記移動局は、上記基地局からの接続要求信号の送信を制御する情報を受信すると共に、上記接続要求信号の送信を制御する情報に基づいて上記基地局に接続要求信号を送信し、上記基地局から接続許可信号が送信されない場合、上記移動局は、基地局探索モードに移行することを特徴とする狭域通信方法。